

令和3年度大津町子ども・子育て会議 議事録

- 開催日時 令和4年3月25日（金）15：00～
- 会場 大津町役場3階「会議室302」
- 出席委員 佐方委員（会長） 関委員（副会長） 江口委員 太田委員 齋藤委員
坂本委員 田中委員 備海委員 堀委員 武藤委員 村上委員
元村委員 （計12名）
- 欠席委員 五十嵐委員 高山委員 藤原委員
- 傍聴者 2名
- 事務局 矢野健康福祉部長、大隈子育て支援課長、宮内母子保健係長、
郷子育て支援課審議員兼入園支援係長、下田子育て支援係長、
木瀬入園支援係主事
- 次第
 1. 開会
 2. 議題
 - （1）令和4年子ども・子育て関係の事業について
 - （2）町内教育・保育施設の定員及び施設種別の変更について
 - （3）公立保育等再編方針について
 - （4）その他
 3. 閉会

■ 議題

(1) 令和4年子ども・子育て関係の事業について

【事務局より説明】 別紙 資料1

〔会 長〕 ご質問のある方は挙手をお願いします。

〔委 員〕資料の3ページの子育て世代包括支援センター運営事業が令和3年の10月から開設されているということを私自身全然知らなくて反省しているが、町民や施設等にもしっかりと案内していただければと思います。また、実績として今年度何件ほどあったのか教えていただきたい。

〔事務局〕子育て世代包括支援センターは、令和3年10月に開設し、まずは町民の皆様に対して、町のホームページと広報おおづでお知らせをしています。また、現在母子手帳交付は、保健師や栄養士が必ず一対一での面談時間を設けており、その中でこちらの子育て世代包括支援センターがあるので、いつでも気軽に何でもご相談くださいとご案内をしているところです。まだ情報が行き届いていない面もあると思いますので、ICT等も活用しながら広報周知に努めていきたいと思っています。

実績としては、10月から2月までで細やかな数字ではありませんが、延べ130件ぐらいの方に対応しております。母子手帳交付と別に、ご相談を受けたり、こちらから妊娠期のフォローでお電話をしたりした方になります。

〔会 長〕子育て世代包括支援センターの実績また周知について確認をいただいたところです。周知につきましては、ホームページや広報紙での周知に加え、今後SNS等の活用と関係機関や施設等でも周知を図り、より多くの方に知っていただくような工夫を重ねていただければと思います。

〔委 員〕3ページの(10)妊婦健康診査についてですが、産婦人科にも行かず産まれ月まで妊婦検診をせず、病院に行って受け入れてもらえなかったという話を聞きましたが、大津町ではそのような事はありませんか。

〔事務局〕出産の直前まで病院にもかからず飛び込み出産をされる方がいるかというご質問だったかと思いますが、今年度は今のところいらっしゃらないですが、やはり数年にお一人程度そういう方もいらっしゃいます。そういう場合は、まず産科にご相談される方が多いので、産科からご連絡を受けて連携しながら母子手帳及び妊婦健診受診票を即時発行し、できる限りのサービスを使っただき、なるべくご負担がないように努力しているところです。ただ、本人からの妊娠届出がない限り妊娠の事実把握が出来ないのでその辺が難しいところです。以前は、妊婦健診の受診票も2回とか3回の発行し

かなかったものが、今は制度が充実しまして14回分発行しています。これは妊娠期間に受けるべき健診の全部を網羅できる回数となっていますので、経済面の不安があって申出が出来ない方は、ここ数年はいらっしゃらず、妊娠に気づかなかったとかいう方がいらっしゃるといところです。

〔委員〕4ページの子ども家庭総合支援拠点についてですが、現在、小中学校の各家庭の保護者の方が、かなり悩みを持っていて相談をしたいというケースが多く色々な相談機関につないでいますが、この子ども家庭総合支援拠点は、そういう小中学校の保護者が相談を受けられるということでしょうか。

〔事務局〕子どもさんを持つ全ての保護者が対象になっておりますので、小中学校の保護者の方も相談に来ていただけるような体制になっております。

〔委員〕2点質問させていただきます。1点目は、2ページの保育士等処遇改善臨時特例交付金事業ですが、実際どの程度賃上げされたかというのはどこがチェックされるのでしょうか。もう1点が、大津町で産後ケア事業はやってらっしゃるか教えてください。

〔事務局〕施設から職員ごとの賃金改善額の計画書を提出していただき、実績報告書では、賃金規程や賃金台帳等の提出を求め、チェックを行うところです。産後ケア事業につきましては、健康保険課の母子保健係で次年度、新規事業として予算を計上し進めていくところです。

〔会長〕他にご質問等ありませんでしょうか。無ければ次の議題に入りたいと思います。議題2「町内教育・保育施設の定員及び施設種別の変更について」事務局より説明をお願いします。

(2) 町内教育・保育施設の定員及び施設種別の変更について

【事務局より説明】

別紙 資料2 「令和4年度からの利用定員及び施設種別の変更について」
「教育・保育の「量の見込み」及び「確保方策」変更（案）」

〔会長〕事務局から説明がありましたが、今回は、今後の変更見込み案という形で、具体的には、来年度の子ども・子育て会議の中で皆さんにお諮りするということでした。このことにつきまして、ご質問等のある方は挙手をお願いします。

〔委員〕資料2の1ページの白川幼稚園さん1号の人数、4月時点で定員は70名だ

と思いますが、実際何名いるのかと、同じく大津音楽幼稚園さんの1号の人数を教えてください。

〔事務局〕白川幼稚園については、令和4年4月当初については、町内と町外合わせて、130名前後と聞いております。ただその中でも、2号にも併願で申請されている方もいるかと思っておりますので、これから確定値を出していく形になります。大幅に定員人数を超えている部分に関しては、来年度と再来年度に入所の枠に制限をかけてキャンセル対応等で、2号に徐々に移していくと聞いております。

大津音楽幼稚園についても、4月時点で130名前後と聞いております。あとは、満3歳の受け皿も含めて150名ぐらいに年度末にはなる予定ということで150名の設定と聞いております。

〔委員〕白川幼稚園さんの資料1の定員90名に対して在園児32名で入所率が35.6%となっているのに、今の変更案の量の見込みは、2号がマイナス23名と足りなくなっている。90名に対して30名しか入っていないのに何故、マイナスになるのか教えてください。

〔事務局〕4月当初の白川幼稚園の在園児数については90名のうち今35名ということになっておりまして、実際、1号から2号への移行がなかなか進まなかったということになります。また、3号認定の児童についても、当初から30名きっちり入るのは職員の関係で難しいので、今後、職員の増加や1号から2号への変更も含めて、徐々に検討しているところです。

〔委員〕令和4年度の量の見込みが、2号は775名になっているが実際はこんなにならないということでしょうか。

〔事務局〕算出している数値は、令和元年度時点での推計人口から出しているため、再度精査するのが難しいというところです。

〔委員〕資料1の定員数と在園児をみると2、3号の空きはあるので、今後の計画変更時は、量の見込みも併せて、数字を出し直した方がいいと思いました。

〔事務局〕ご意見ありがとうございます。来年度、検証しまして対応させていただきます。

〔会長〕ありがとうございます。使っているデータで推計値の問題等もあったかと思えます。今回変更案という形でお示しをして皆さんにご意見をいただいた上で来年度し

っかり事務局で検証をして、改めて皆さんにお諮りしたいと思います。
そういった意味で、何かお気づきの点がありましたら、ご意見いただきますようお願いいたします。

〔委員〕お話を伺い、やはり将来を予測するのは難しいと思いました。それをよく分かった上で質問ですが、令和3年度と令和2年度見込みがどれぐらい当たっていたのか教えていただきたい。

〔事務局〕申し訳ありません。現在、そこまで精査出来ておりません。

〔委員〕すぐやらなくても大丈夫だと思いますが、外れることは仕方ないので、なぜ外れたかを考えることによって、より精度の高い予測ができるようになると思うのでその点をよろしくお願いします。

〔会長〕貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘ありましたように、推計と実績の乖離の確認とその検証を進めることで、精度が上がってくるかと思しますので、次回の会議までに検証をしっかりといただければと思います。他にご意見ありませんでしょうか。それでは次の議題に入ります。

(3) 公立保育等再編方針の策定について

【事務局より説明】

別紙 資料3 「公立保育等再編方針について」

〔会長〕公立園の再編については、別途、公立保育等再編検討委員会で熱心な審議をしていただき、方針案ということで今お示ししているところです。中でも、必要な教育・保育の量をしっかり確保しながら、公立園として何をすべきかということをしつかり議論をし、それを実現するための方針ということで今2段階のご説明をいただいたところです。これからは、皆さんにしっかりと理解をしていただくことが必要ということで、概要版を作って、丁寧な説明をしていくということでした。皆様から確認事項やご質問等ありましたらお願いします。

〔委員〕第1段階の民間認定子ども園へ移行する大津幼稚園に入園される方が、実際に、今までの入園数と来年度の入園数が変わったのか教えていただきたい。また、私はワークショップにも参加し、いろいろ意見させていただいて、ちょっと不安なところがあります。ただ、公立園が認定こども園という形で残るとするのは少し安心しました。大津幼稚園を来年度選ばれた方たちが、年長になった時に民間認定こども園になるというような計画になっていますが、その辺の理解を本当に得られるのか、年長になった時

に、どういう環境の変化が起きるのかご説明いただければと思います。

〔事務局〕まず1点目の入園数です。正確な数字は後で持って来ますが、平成27年度ぐらいから1割から2割ずつ毎年減少しています。今年も同じ状況で、去年から今年に対して、1、2割減少していたと思います。令和4年4月も79名、ただし令和5年3月の見込みは満3歳の年少々児が入ってくるので、もう少し増えて86名の予定です。また、令和4年度3歳児クラスの児童が年長時に民営化されることとなります。その際の方々の不安に対してということで、現状でも園から説明をして、ご了解の上入園していただいているところです。それに対してそのまま在園される方、そして、もしかしたらやはり公立がどうしてもいいということであれば陣内幼稚園の方に移られる方も出てくる可能性はゼロではないと考えているところです。そのままの環境で子どもたちを保育できるように、町としましては公募の際に、先生方をそのまま継続していただくようお願い等、条件とさせていただきたいと考えているところです。方針や今まで培ってきた伝統などについては事業者の方にご理解をいただきたいということで考えております。

(大津幼稚園の近年の入園状況について 追加資料にて説明)

〔会 長〕今、入っている方もこれから入られる方も不安はあるかと思いますが、丁寧な説明をしながら、また公募の際に今までの流れをしっかりと仕様書等に入れ、条件として皆様の不安が少なくなるような形にさせていただくよう計画をされているようです。よろしいでしょうか。

〔委 員〕私は子どもを陣内幼稚園に通わせていたのですが、先日のワークショップでの先生方の言葉にすごく熱いものを感じて、こんなに熱心に指導していただいていたんだと改めて、本当に感謝をしたところです。その先生方がそのまま残られる様な施設運営をお願いしたいです。

〔会 長〕ご意見、要望という形で、パブリックコメントの中でも同じようなご意見をいただいております。熱心に指導いただいた先生方がまた引き続きご指導いただけるような形で配慮いただきたいというご意見もあっております。基本的には大津町の方々が民間の認定こども園という形で引き続き質の高い保育を受けていただけるように、公募をする中で、事業者の方にしっかりお伝えをしていくということになります。ご意見ありがとうございました。

〔委 員〕この概要が、すごく分かりやすく、両面見れば分かるというすばらしいものを作っていただいてありがとうございました。最近、子育て支援の色々な仕組みが出来ていって本当にいいことだと思いますが、一方で、複雑化し、どこに何を相談してい

いのかよく分からない状況があると思います。新しい子育て世代包括支援センターや、子ども家庭総合支援拠点でさらにまたワンストップの窓口もできてより手厚い支援ができるようになると思いますが、幼稚園の先生や小中学校の先生方が、気になる子が居たらそこにつながるように、どこに相談したらいいかリストのようなものがあればホームページ等で周知して必要な人に使っていただけるようになると思います。

〔会 長〕 ご意見ありがとうございました。町民の方に分かりやすく、なかなか名前だけでは分からない部分があるかと思いますが、どの様な相談があれば、どの窓口に行けばいいか分かりやすくまとめていただいて周知いただければと思います。

(4) その他

【事務局よりお知らせ】

- ・認可外保育園「おひさまひろば」令和4年4月開園のお知らせ